



健光長生治療院
電話 049-254-4477



Life & Work わたしの 天職

身と心をほぐし 癒やしをもたらす

渡邊公子さん(52)
埼玉県・川越教会

「ようこそおいでくださいましたー」

治療院の玄関に入ると、白衣姿の渡邊公子さんが明るく元気な声で迎えてくれる。笑顔のおもてなしに、気持ち癒やされる人が多い。

あん摩マッサージ指圧師として二十七年のキャリアを持つ。五年前に実家に戻り、「人をケアする」というこの道の奥深さを背中で教えてくれた父・修孝さん(81)、母・佳代子さん(77)と健光長生治療院を営む。

治療院を訪れたクライアントに、渡邊さんはまず「今日はどこがつからいですか?」と声をかけ、体調や近況を尋ねる。痛みや凝り、姿勢の歪みを引き起こしている相手の生活習慣や仕事、ストレスの有無などを知ること、最適な治療を施せるからだ。それから、うつ伏せになってもいい、

全身のマッサージを始める。

渡邊さんは高校卒業後、自衛隊に入隊し、教官を夢見ていた。だが、クラブ活動で大けがを負い、断念。気落ちしたが、入院中に父親が渡してくれた庭野日敬開祖の著書『仏教のいのち法華経』(佼成出版社)を読み、考えが一変した。「人生に起こるすべてに意味がある。そして苦に直面しても、それをきっかけに自分を磨いていけば、幸せの道を進めるのだと知って、希望が湧きました。けがをして初めて、治療する人になりました。いつも思っていたのです」

今も月に二回、県外へ施術法を学びに行く。修練による優れた技能と明るい人柄で、顧客を増やしてきた。最近では地域イベントに招かれてブースを出展。社員思いの知人の経営者から依頼され、福利厚生としての契約も結んだ。「一つ一つのご縁がありがたいです。頑張る人たちの体のバランスを整え、本来の生きる力を取り戻す一助になれば。今は気負わず、そんな気持ちでさせていただきます」

*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」
<https://rikkanokai.jp/community/>
1月1日から上記ウェブサイトでもこの記事がご覧になれます。